

教科名	保健体育 科	科目名	保健			
履修学年	1 学年	履修	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	単位数	1 単位	
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育（大修館） 現代高等保健体育ノート（大修館）					
学習の目標	人及び集団の生活における健康安全管理についての理解を深め、健康に関する問題を自主的に解決する能力や態度を高めて、心身の調和的な発達を図る。生涯を通じて健康課題に応じた自己の健康管理や環境づくりに寄与し、健康的な社会環境づくりを実践できる資質や能力を育成する。					

●どのような力を、どのレベルまで身につけるのか【目指す能力とその次元】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会と健康、安全な社会生活とその活用について、個人だけでなく社会生活について総合的に理解をしている。</li> <li>・現代社会と健康、安全な社会生活について、健康を保持増進する技能を身につけ、実践することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康に関わる事象や健康情報などから自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができる。</li> <li>・健康の保持増進について、その時々目的や状況に応じて他者に伝える力を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を実践しようとしている。</li> </ul>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査（知識技能の問題）</li> <li>・授業への取り組み状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査（思考判断表現の問題）</li> <li>・課題の取り組み状況</li> <li>・授業への取り組み状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートの取り組み、提出状況</li> <li>・授業への取り組み状況</li> </ul>

●いつ、何を学ぶか【学習内容】

学期	学 習 内 容	学習活動・ねらい
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の考え方と成り立ち</li> <li>・私たちの健康のすがた</li> <li>・生活習慣病の予防と回復</li> <li>・がんの原因と予防</li> <li>・運動と健康</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民の健康課題について、指標や疾病構造の変化を通して理解できる。</li> <li>・個人や集団の健康についての考え方が変化してきていることを理解できる。</li> <li>・現代社会と健康・安全な社会生活に関わる事象や情報から、自他や社会の課題を発見することができる。</li> </ul>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙と健康</li> <li>・飲酒と健康</li> <li>・薬物乱用と健康</li> <li>・精神疾患の予防</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙・飲酒による健康課題の防止や乱用防止のために必要な個人への働きかけおよび社会的対策について理解できる。</li> <li>・薬物の乱用は心身の健康・社会安全に対し深刻な影響を及ぼすため決して行ってはならないと理解できる。</li> <li>・精神疾患の特徴を理解し、予防に必要な要素および回復方法について理解できる。</li> </ul>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の感染症</li> <li>・感染症の予防</li> <li>・性感染症・エイズとその予防</li> <li>・日常的な応急手当</li> <li>・心肺蘇生法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症とその予防について、課題を発見し、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる。</li> <li>・応急手当の意義や重要性を理解できる。</li> <li>・日常的な応急手当の方法や、心肺蘇生法および AED の使用方法について正しく理解し、実習を通して身に付けることができる。</li> </ul>